

2022(令和4)年度沖縄県若年性認知症支援推進事業
本人家族交流会 若年性認知症カフェ 報告書

若年性認知症カフェ

目的：若年性認知症カフェ内で、ご本人と介護家族の交流を深め、孤立しやすい若年性認知症のご本人と介護家族のネットワークづくりを促す。

当カフェの特性

- ・ 孤立する県内の当事者及びその支援者にピアカウンセリングの場を提供する。
就労型活動自助グループの活動の場として提供し、当日初めて参加される当事者とその家族との交流を、自助グループの方に積極的に行っていただけるよう依頼している。
- ・ 経験と技能を活かす場をめざす。交流会の場も活動の場として提供し、それぞれの活躍の場を増やすよう支援する。例：ギターや英会話などそれぞれの特技を活かした教室の開催等
- ・ カフェ内で当事者の意見を活発に頂く。施策へ反映されるよう、意見をまとめる。

1. 日時：2022年2月19日(土) 1回目：13時～14時 2回目：15時～16時 定員各6名
【会場】 新オレンジサポート室（宜野湾市普天間1-9-3）

2. 本日のプログラム

各回：交流会（近況報告）

3. 参加者数 1回目 6人（内訳：当事者1名、家族4名、専門職1名）
包括認知症地域支援推進員：1名スタッフ配置
2回目 4人（内訳：当事者2名、家族2名、専門職0名）

4. 当日の様子

コロナ感染対策に留意し、2ヶ月ぶりのカフェ開催となりました。初めてご夫婦で参加される方や疾患センターからの紹介でいらっしゃる家族もいました。コロナ禍があけたら…事務所だけではなく、行ってみたい所や外で“大人のピクニック”みたいな活動もしてはどうか？石に興味のある当事者の参加もあり、“石を見に外出する”という提案も出ました。今月から支援で知り合ったお菓子作りが趣味という男性のケアマネージャーに、カフェのお土産を依頼してみました。低価格でチョコマフィンが届けられ…クオリティ高い出来栄えに参加者みんな圧倒されました。

5. 所感

コロナ禍で以前の様に大人数で集えない難しさがありますがコロナ感染状況をみながら実現出来たら…と思いました。



以上